



まだ誰も知らない安心を、ともに。

～地域の皆さまとともに～ コミュニケーションレポート 2022

- トップメッセージ
- 中期経営計画
- サステナビリティの取り組み
- 事故のない安全・安心で
快適なモビリティ社会の
実現
- 地方創生取り組み
- 気候変動対応
- D&I・スポーツ振興

MS&AD

あいおいニッセイ同和損保



まだ誰も知らない安心を、ともに。

CSV×DXを通じて、 お客さま・地域・社会の未来を支え つづける会社を目指してまいります。

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
2022年4月1日よりあいおいニッセイ同和損保の社長に就任した
新納です。

今なお世界中で猛威を振るう新型コロナウイルスの影響もあり、我々のライフスタイルは一気に変化しています。また、世界が気候変動・地球温暖化のリスクに直面し、多くの産業においてカーボンニュートラル・脱炭素への取組みが進むなか、当社の事業環境はこれまでとは比較にならないスピードで大きく変化しています。

このような環境下、保険・サービスには進化が求められていると考えます。これまでの発想を超えたアイデア・ストーリー・スピードで保険に新たな価値を生み出し、より良い未来の実現に貢献しなければなりません。

2022年度、当社は新たな中期経営計画（～2025年度）をスタートさせました。保険の新たな価値創造に挑戦するとともに、特色ある成長基盤を強化し、これまで磨き上げてきた当社の「先進性」「多様性」「地域密着」をさらに進展させてまいります。

新たな中期経営計画では、その核となる考え方を「CSV×DX（シーエスバイバイディーエックス）」と呼んでいます。これは未知のリスクや社会・地域課題と向き合い、それらを解決する保険商品や新たなサービスを国内外のあらゆる事業を通じて生み出すことによって、安全・安心で快適な、新しい社会を創り出していくという考え方です。国内外の様々な業態とのパートナーシップにより、これまでの保険にDXを活用した新たな価値を加えるとともに、得られたデータ・ノウハウをもとに社会との共通価値の創造を加速させ、CSV（Creating Shared Value）の連鎖を生んでいこうという当社の強い意志を込めました。

また、サステナビリティ取組みにおいても、CSV×DXに基づき、3つの重点取組項目、「健やかな地球環境を未来につなぐ」「レジリエントな社会の実現へ貢献する」「すべての人の幸福と自分らしい生き方を支える」を設定し、社員一人ひとりが本業を通じて地域・社会の課題に自分ごととして取組んでいきます。



CSV×DXにおける地域・社会課題解決の代表例はテレマティクス自動車保険です。この保険は従来の「事故が起きたときの補償」に加え、テレマティクス技術により保険をDXさせることで「事故を未然に防ぐ」「事故の影響を減らし、回復を支援する」といった新たな価値を加えました。発売以降、安全運転につながる各種サービスや安全運転の取組みを評価し保険料の割引に反映する仕組み等が高い満足度を実現するとともに、実際に事故低減効果を発揮しています。さらに、「社会・地域課題を解決する保険」としても価値を發揮しています。例えば、取得した膨大な走行データや事故データを分析することで、地域の危険な道路・交差点の情報を特定し自治体へ提供するなど、安全・安心な街づくりにも活かしています。また、安全運転は燃料消費量やCO2排出量を減らすエコドライブの促進に繋がっており、事故の低減は修理部品や廃棄物の減少にも繋がることから、地球環境にも貢献しています。

当社は、この「CSV×DX」のコンセプトに基づく事業を自動車保険に限らず、その他の保険・サービスをはじめとする、当社の国内外のあらゆる領域において地域密着で進め、お客さまに共感いただける新たな価値を生み出しつづけてまいります。

当社がCSV×DX戦略を進めるうえで最も重要な経営基盤は人財、そしてそこから生み出すストーリーです。とりわけ、ダイバーシティ&インクルージョンが重要と考え、経営戦略のひとつに位置付け取り組んでいます。多様な人財が集まり、それぞれの感性・価値観を活かしながら、誰もが自由にチャレンジできる環境こそが、変化の激しい時代においても、新たな価値を生み出しつづける鍵となります。当社の役職員一人ひとりが「CSV×DX」を軸に、それぞれが持つ個性と情熱を掛け合わせ、グローバルにチャレンジできる環境づくりに取り組んでいます。

これらの思いを込めて「CSV×DX」のキャッチコピーは「まだ誰も知らない安心を、ともに。」としました。

お客さま、代理店、取引先をはじめとする全てのステークホルダーの皆さまとともにCSV×DXを加速させ、地域・社会の未来をグローバルに支えつづけてまいります。

引き続き、一層のご愛顧とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長

新納啓介

あいおいニッセイ同和損保の中期経営計画(2022-2025)

当社では、MS&ADインシュアランスグループの中期経営計画を踏まえ、2022～2025年度の4カ年の中期経営計画を策定しています。

■ 2025年度に当社が目指す姿

シーエスファイ バイ ディーエックス
**CSV×DXを通じて、
お客さま・地域・社会の未来を支えつつける**
先進性・多様性・地域密着を進展させ、迅速・柔軟・果敢にチャレンジ

■ CSV×DX とは



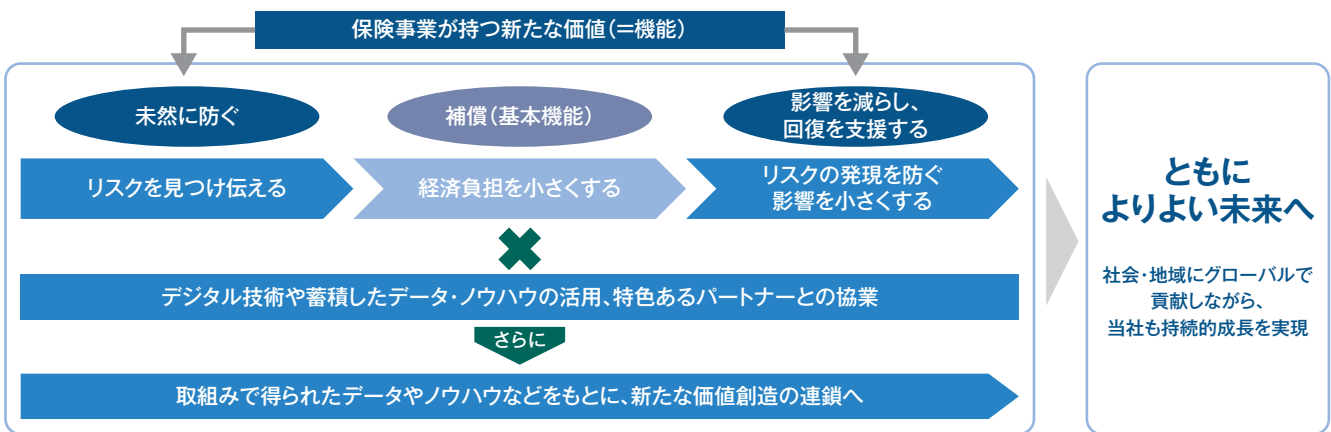
まだ誰も知らない安心を、ともに。

デジタル・データ活用などにより保険事業を新たな価値にシフトすることで、お客さま・地域・社会とともに、社会・地域課題の解決を目指す

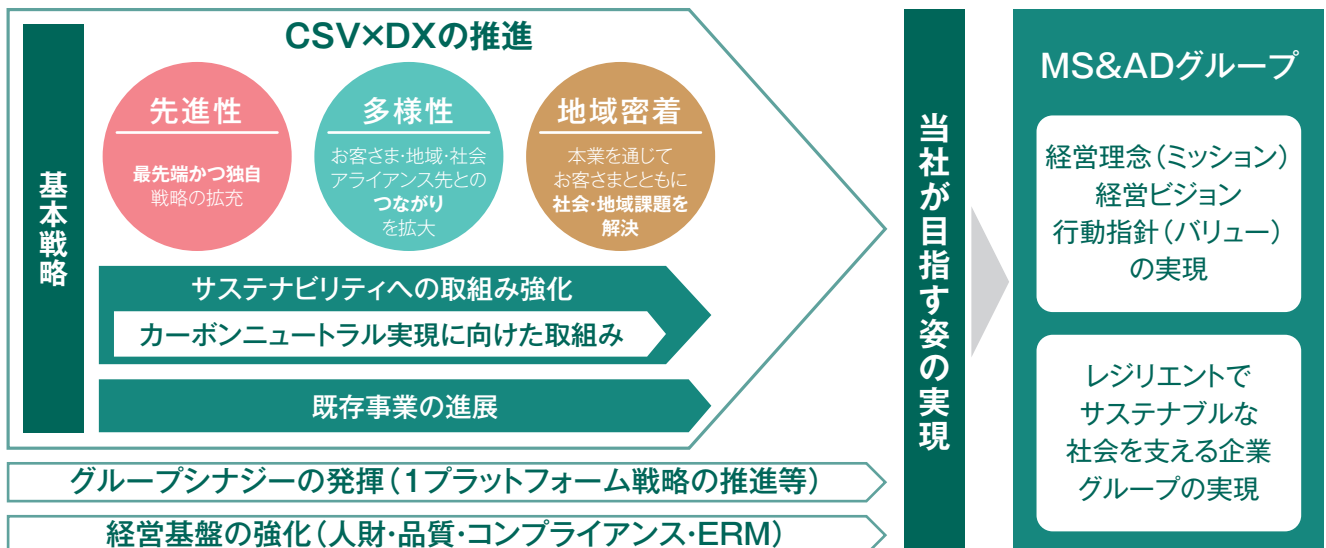
Creating Shared Value(社会との共通価値の創造)

⇒事業を通じて社会課題を解決することから生まれる「社会価値」と「企業価値」を両立させること。

DX：デジタルトランスフォーメーションの略語。データやデジタル技術を活用し、価値提供を変革させること。



■ 基本戦略



あいおいニッセイ同和損保のサステナビリティ取組み

当社は、ステークホルダーと当社双方にとって重要度が高い社会課題の解決を目指し、3つのサステナビリティ重点取組項目を設定しています。社員一人ひとりが地域・社会の課題に自分ごととして取り組み、お客さま、代理店、取引先をはじめとする全てのステークホルダーの皆さまとともにCSV×DXを加速させ、「社会のサステナビリティ」と「当社の持続的成長」の同時実現を目指し、取り組みを推進しています。

レジリエントでサステナブルな社会



【中期経営計画2022-2025 目指す姿】
CSV×DXを通じて、お客さま・地域・社会の未来を支え続ける

CSV×DXの推進

社員一人ひとりが地域・社会の課題に自分ごととして取り組む



3つの重点取組項目

解決を目指す社会・地域課題

健やかな地球環境を未来につなぐ	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化の進行 ・自然資本のき損・枯渇 ・環境汚染・非循環型経済
レジリエントな社会の実現へ貢献する	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害の多発・激甚化 ・地域産業の衰退 ・サイバーリスクの増加 ・産業構造の変化に伴う新たなリスクの発現
すべての人の幸福と自分らしい生き方を支える	<ul style="list-style-type: none"> ・少子・高齢化の進行 ・人権侵害・多様性の排除 ・経済格差の拡大

事故のない安全・安心で快適なモビリティ社会の実現

CSV×DXを体現した商品 テレマティクス自動車保険



テレマティクス自動車保険は、テレマティクス技術を活用した各種機能でお客さまの安全運転をサポートし、充実した補償に加え、スコアと連動した保険料体系や運転診断レポートで事故を未然に防ぎ、先進的な損害サービスで事故の影響を減らし、回復を支援するという新たな価値を提供し、交通事故削減という社会課題解決に貢献しています。



AIを活用した最先端の事故対応～テレマティクス損害サービス～

テレマティクス自動車保険において通信車載器等から得られるデジタルデータを事故対応に活用する「テレマティクス損害サービスシステム」では、お客さまとの電話や書類のやりとりを中心とした従来の事故対応から、走行データや運転挙動・位置情報を中心としたデジタルデータの活用による革新的かつ高度な事故対応に変革することでお客さまをサポートします。当社の24時間365日事故対応サービス「I'mZIDAN」では、夜間・休日もテレマティクス情報を活用した相手方とのやり取りや示談交渉等が可能で、多くのお客さまにご満足を頂いております。今後もさらにサービスを高度化させ、安全・安心なモビリティ社会の実現に貢献します。

当社専用のドライブレコーダーを活用した最先端の事故対応



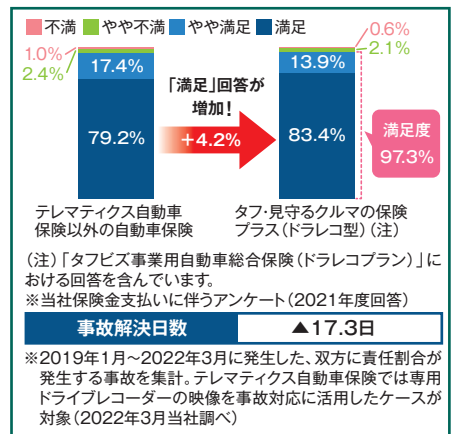
自動的にコールセンターに通知し、お客さまへ連絡
レッカー手配等の初期対応を実施

事故の場所や事故に至るまでの走行経路等を正確かつスムーズに把握

AIが解析した相手車両の速度等のデータを活用し、迅速・適切な事故解決を実現※

※AIが解析した相手車両の速度等のデータ(参考値)は通信環境・天候・事故の状況等により、事故対応に活用できない場合があります。
※当社で行った衝突実験の画像です。

満足度・解決日数



CSVの連鎖 テレマティクス自動車保険で生み出した新たな価値

テレマティクス自動車保険が解決する社会課題は、事故の削減に留まりません。事故低減に伴う産業廃棄物削減やエコドライブ推進によるCO2排出量削減、データを活用した自治体共同での交通安全マップ作成や、脳トレアプリによる高齢者の運転寿命延伸による地域の活性化など、CSVを連鎖させ、様々な社会・地域課題の解決を目指します。



地域密着の確立に向けて

～地方創生プロジェクト～

地方創生プロジェクトの取り組み

当社は、行動指針に「地域密着」を掲げ、従来から、地域社会への貢献活動などに取り組んできました。

2016年には地方創生プロジェクトを立ち上げ、地方自治体、代理店、地域金融機関、地域企業等と幅広く連携し、地域の課題解決に向けた取り組みをすすめています。

全国のリテール支店に設置した地域戦略室を中心に、地方自治体との課題解決の取り組みを絶えず実施し「地域密着」の確立を目指していきます。



地方自治体との 連携協定数 **401**

(2022年3月末時点)

地域金融機関、大学、商工団体、都道府県警察、在日外国商工会議所などの連携の輪も広がっています。



地域の課題解決に向けた取り組みの広がり

当社は、「地域社会への貢献活動」、「課題解決支援メニュー」提供、「先進技術を活用した支援メニュー」提供の3つの取り組みで地域の課題解決をサポートしています。

今年度から始まる新たな中期経営計画のもと、CSV×DXをコンセプトとする商品・サービスの提供など、本業を通じて、お客さまとともに、社会・地域課題の解決を図り、先進性・多様性・地域密着を進展させ、地方創生を新しいステージへとすすめていきます。

本業を通じてお客さまとともに社会・地域課題を解決し、地方創生を新しいステージへ

地域社会への貢献活動



課題解決支援メニュー
(リスクマネジメント等)



先進技術を活用した
支援メニュー



支援メニュー等を
活用した取り組み

累計約2,000回
(2022年3月末時点)

CSV
×DX

本業を通じて
お客さまとともに
社会・地域課題
を解決

「先進性・多様性・地域密着」
を進展

地方創生を
新しいステージへ



私たち代理店は、地域の皆さまから信頼される存在であり続けるために、日頃から、地域に密着した活動に取り組んでいます。また、あいおいニッセイ同和全国プロ会としても、2021年10月に「SDGs宣言」を行い、持続可能な社会づくりに向けて、社会・地域課題の解決に取り組んでいます。今後も「地域密着」

の担い手、地域のリスクマネージャーとして、あいおいニッセイ同和損保とともに、地域の皆さまに寄り添い、地方創生に貢献してまいります。

あいおいニッセイ同和全国プロ会会長
細江 哲也



地方創生プロジェクトでは、地域に根ざし活動する代理店とともに、顔の見える活動をすすめています。また、2021年4月から全国のリテール支店に地域戦略室を設置し、地域の皆さまとともに、SDGsを道標とする課題解決の取り組みを進めています。今後も、新たな中期経営計画のもと、CSV×DXをコンセプトに、本業を通じて社会・地域課題解決を推進することで地方創生を新しいステージへと進め、「地域密着」の確立を目指してまいります。

地方創生プロジェクトオーナー
専務執行役員 金田 実

地方創生プロジェクトオーナー
専務執行役員 金田 実

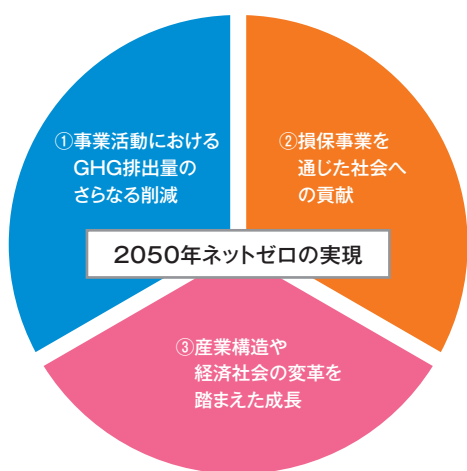
健やかな地球環境を未来につなぐ

当社は、MS&ADインシュアランス グループの一員として、「MS&ADインシュアランス グループ環境基本方針」のもと、気候変動への対応、持続可能な資源の利用、環境負荷の低減等、持続可能な社会づくりに貢献し、より良い環境を未来へつなぐための取り組みを展開しています。

2050年ネットゼロ実現に向けた気候変動への取り組み

当社は損害保険会社の社会的使命としてさまざまな社会課題の解決に取り組んできました。社会に大きな影響を与える気候変動への対応を強化し、お客さまや代理店・扱者、株主、投融資先などのステークホルダーの皆さまとともに「2050年ネットゼロ」を推進していきます。

気候変動対応 取り組みの柱



【具体策】

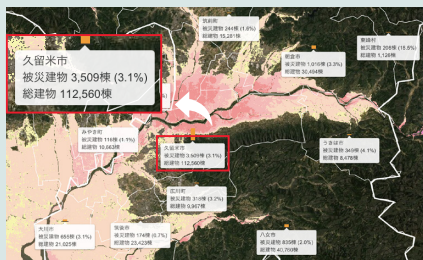
- ・電力・ガソリン・コピー用紙・郵送代・廃棄物の削減
- ・再生可能エネルギーの導入
- ・サステナビリティを考慮した事業活動（保険引受、投融資）
- ・脱炭素社会を支援する、商品・サービスの提供
- ・取り巻く環境の変化を踏まえた「グリーン成長戦略」への取り組み

リアルタイム被害予測cmap

cmap(シーマップ)は、台風・豪雨・地震による被災建物数をリアルタイムで公開するウェブサイトとアプリです。2021年には、SNS情報の動画・画像・テキストを表示する機能や、全国の避難場所・避難所を表示する機能などを追加しました。今後も、当社が連携協定を締結している地方公共団体や研究機関・大学等と共に、防災・減災に役立つ情報を拡充し、防災プラットフォームの構築を目指していきます。



詳しい内容やアプリのダウンロードはこちら



被災建物数とハザードマップの表示イメージ

植林活動～あいおいニッセイ同和損保の森～

2019年8月より北海道美幌町にて「あいおいニッセイ同和損保の森」植林活動に取り組んでいます。植林地の土壌の特徴に合わせ、水気に強い3種類の広葉樹（ミズナラ・シラカバ・ヤチダモ）を3年間で12haの土地に植樹をしました。美幌町では森林の環境保全に配慮した木材の認証制度であるFSC認証に力をいれています。当社は、森林を守り育てる活動に積極的に取り組んでいます。



北海道美幌町 植林風景

地域共生社会の実現に向けて

～誰もが、楽しく、誇りをもって～

多様な人財の総活躍に向けて、ダイバーシティ&インクルージョンを推進

ダイバーシティ推進を重要な経営課題の一つと位置付け、以下の施策を実施しています。

- 部支店ダイバーシティ推進会議による理解・浸透
- 女性管理職育成(女性部支店長・女性ライン長育成プログラム、メンター制度等)
- 女性キャリア形成(昭和女子大学キャリアカレッジ等への派遣、異業種勉強会、ロールモデル交流会等)
- 育児・介護と仕事の両立支援(セミナー開催、社内SNSを通じた交流等)
- シニア活躍推進、LGBTQの理解推進(グループ共催セミナー開催)
- 男性育休5日間取得100%を目標に推進(お祝いカード送付、ロールモデル紹介等)
- 全社員受講必須の人権研修やハラスメント防止に向けた社内ニュースによる啓蒙活動など

障がい者雇用・活躍推進への積極的な取り組み

■全国の職場での採用

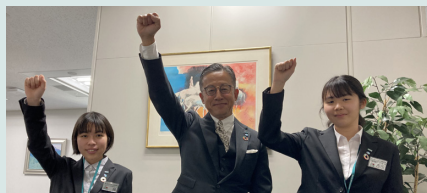
全国に328人※の障がいのある社員が在籍し、新規採用も積極的に行っています。(※2022.4.1現在)

■障がい者雇用「地域密着モデル」

各地域の特別支援学校から、主に知的障がいのある生徒をインターンシップを経て採用する「地域密着モデル」を全国で展開しています。2017年から開始し2022年度も4人を採用、全国で31人が在籍・活躍しています。

■2022年4月 名古屋事務サポートセンター(JSC)開設

恵比寿、日本橋、大阪の計4カ所で、精神23人・知的13人の障がい者が定着・活躍しています。



障がい者雇用「地域密着モデル」2022年度入社社員(大阪)

【障がい者雇用率】

2.54%

(2022.4.1現在)

【女性管理職比率】

16.2%

(2022.4.1現在)

社外からの主な評価



経済産業省・東京証券取引所 令和3年度「なでしこ銘柄」選定 (MS&ADグループとして持株会社が選定)



厚生労働省令和2年度女性活躍推進に基づく優良企業認定「えるぼし」2段階目取得

スポーツ振興 ～アスリートを全力サポート～

当社は、共生社会の実現とともに、行動指針として掲げる「地域密着」のさらなる実現に向けてスポーツ支援、とりわけパラスポーツ支援を実施しています。

スポーツ振興を通じた地域貢献活動、教育支援、社員の一体感醸成活動

当社は、所属アスリート22名(うちパラアスリート13名)※とともに、全国の自治体と連携しスポーツを通じた地域貢献活動を行っています。(※2022.4.1日現在)

また、社員によるスポーツ大会の応援参加等の取り組みを通じ、社内の一体感醸成に繋がっています。2017年に上智大学とパラスポーツに関する連携講座を開設、2020年度には共同研究所を設立し、産学連携の新たなステージに向けた教育支援を行っています。



アジアオセアニア大会 秋田選手応援の様子

AD Challenge Support

あいおいニッセイ同和損保
スポーツ応援サイト

ADチャレンジ

検索

